

プシケおおたニュース

2020年1月号 NO.38

社会福祉法人 プシケおおた事務局
〒144-0051 東京都大田区西蒲田 4-4-1
TEL : 03-5700-6352
FAX : 03-5700-6753
E-mail psyche-ota@mbj.nifty.com
HP <http://www.koujiya-center.com/>

◆法人の理念◆

「一人ひとりの”ちから”を信じ、当事者の思いを実現する。」

～私たち（プシケおおた）は、関わる人・機関が持っている力とその可能性を信じ、当事者の「こうしたい、こうありたい」という思いの実現に向かって行動します～

◆運営方針◆ 職員行動指針；

- ① 当事者中心 ② 自己決定 ③ 権利擁護 ④ 啓発
- ⑤ 協働 ⑥ 創造 ⑦ 研鑽 ⑧ Win-Win



羽田 穴守神社

新年のご挨拶

プシケおおた理事長 石井 一平

令和2年、西暦2020年を迎え、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

本年は東京オリンピック・パラリンピックを迎え、再び飛躍出来る年としたいものです。昨年日本では災害が多く、また世界でも紛争や災害が絶えず、誠に残念な状況でした。防げる災害、避けられる紛争も多く有ると思います。各人が出来る範囲で備えて頂き、プシケおおたも事業者として皆様のお役に立てるように致します。

地球環境悪化の一つの現れとして、日本では各地で予想以上に大型台風の被害が起こり、滅多に大きな被害がみられない東京でも、屋根瓦が飛んだり植木鉢が転倒したりの強風による被害や浸水の被害が出ました。猛暑も長く続き、熱中症で不調になる方も年ごとに増えています。

一昨年も昨年も気温や気圧の変動が激しく、その影響を受けて自律神経が不安定になり、倦怠感や頭痛など目立つ方が多くなりました。地球を通してこの気候変動を押しとどめようとする会議COP25（第25回国連気候変動枠組み条約締約国会議）では、各国の思惑が輻輳して積極的な温暖化対策への取り組みが纏まらなかったようです。このような気候悪状況を理由として、2020東京オリンピックのマラソンは東京コースを中止され北海道に変更されました。少し残念ですがパラリンピックのマラソンは当初の予定通り東京のままのようです。

パラリンピックは、主に肢体不自由の身体障害者（視覚障害を含む）を対象とした競技大会であり、障害種は「運動機能障害」「脳性麻痺」「切断など」「視覚障害」となっています。聴覚障害者・知的障害者・精神障害者の障害枠ではパラリンピックに出場できません。精神障害は様々な方面で障害対象に入っていない、制約を受けていることが残念に思います。知的・身体・精神といわれる三障害での処遇の差を少しでも早く是正して頂きたいと思えます。

昨年開催されたラグビーワールドカップは、期待以上に感動できた大会となり、いわゆる「にわかファン」も増やしました。陰悪な世界事情とは裏腹に「no side」「one team」という言葉も浸透しました。活動の場では仲間が一人となって力を出し、「one for all」「all for one」の気概を持つことも良いでしょう。国際関係でも日常の生活でも、必要な時には助け合い、競うことが終われば互いに称え合い、スポーツ競技のように各国・各人が仲良く出来る日が来ることを祈りたいと思います。





こうじや生活支援センター 餅つき交流会

令和2年1月11日(土)、こうじや生活支援センターにて毎年恒例のお餅つきを行いました。当日は天気に恵まれ、大盛況のうちに会を終えることができました。町会の皆様や地域の皆様方、ボランティアの方々や家族会、利用者さんやご家族の方など計92名の方々にご参加いただきました。ご協力誠にありがとうございました。当日の様子を写真で紹介させていただきます。



東靴谷1、2丁目町会の副会長の片田様にご挨拶をいただきました



毛糸小物も販売しました♪



おしるこは温かくて甘くて
ホッとする美味しさでした



当日はお餅つきのあとにプラバン
体験コーナーをしました。



かまた生活支援センター クリスマス会と大掃除を行いました！



クリスマス会

かまた生活支援センターではクリスマス当日までに色々な準備をして、2019年12月24日（火）にクリスマス会を迎えました。見栄えを考えながら飾り付けたクリスマスツリー、装飾品を貼ったポスター、さらには天井を飾るチェーン。様々なアート作品を並べて、センターでのクリスマス会を盛り上げました。

クリスマスソングを聞きながらクリームシチューやパンを食べ、センターにあるサンタの帽子を被って楽しみました。

「センターでクリスマスを過ごすことができ、心まで洗われる」との感想もいただきました。

準備や当日の運営に至るまでご協力いただいた全ての皆様、ありがとうございました。そしてお疲れさまでした。



大掃除

2019年12月28日（土）、かまた生活支援センターにて大掃除を行いました。

新年を気持ちよく過ごせるよう、利用者さんも率先して片付けや掃除に取り組まれていました。

2020年のかまた生活支援センターも、皆さまと一緒に、清潔で明るい空間作りに努めていけたらと思います。





ホームプシケ

グループホーム研修会



ホームプシケでは独自に研修会を行っています。今年度は年金や自立生活援助事業の勉強、事例検討などを行いました。12月25日にも開催し、個別支援計画の作り方について学びました。講師は職員の高橋さんが行い、個別支援計画を作る流れ、ストレングスとリフレーミングを生かしていく重要性など、ワークを交えながら勉強しました。今回研修を受けて、個別支援計画を作るための作業は、計画の作成時だけでなく、日常的に必要なだと学び、非常に有意義な経験をすることができました。

ストレングス：強み

リフレーミング：言い換え。別の視点から見直すこと。



忘年会&クリスマス会



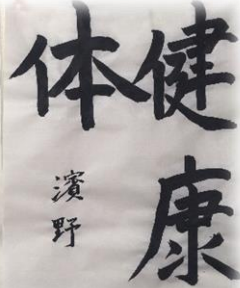
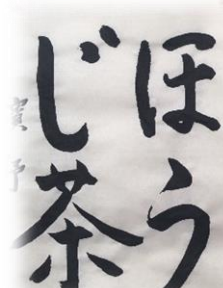
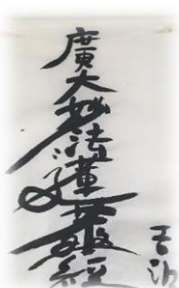
グループホーム研修会後にホーム蒲田忘年会をしました。ミーティングで「やりたい!」という声上がり、入居者さんがチラシ作成やお店の予約をやってくださいました。お店は近くのお蕎麦屋さんで、特別に忘年会コースを作ってください、皆さん美味しくボリューム満点のお料理に舌鼓をうっていました。デザートには参加者でお金を出し合って買ったロールケーキも食べ、大満足な忘年会&クリスマス会となりました。



書初め



1月2日にはホーム蒲田で書初めをしました。ホーム蒲田では毎年恒例の行事になっており、始まる前から何を書こうか悩む方もいれば、もう決まっているという方もいました。箱根駅伝の事や子供の時のお話などいろんなことを話しながらも、大事な場面では書に集中していたりと、みなさんメリハリをつけて書初めを楽しんでいました。



クッキングワーク街の駅

忘年会&メンバーミーティング

クッキングワーク街の駅では毎年、年末に忘年会をかねたメンバーミーティングを行っています。

忘年会では、メンバーの皆さんから希望があったピザを注文しました。

また、調理メンバーを中心にサラダを作り、普段お弁当のメニューに入っているミルフィーユかつや、販売もおこなっている手作りパウンドケーキなどプレートに盛り付けました。

楽しく食事をした後は、ミーティングにて 2019 年の振り返りと 2020 年の抱負をそれぞれ発表し、新年に向けての英気を養いました。

クッキングワーク街の駅は前年の 11 月より配食サービスのエリアを大田区全域へと広げました。スタッフ・メンバーともに、より多くの方に街の駅のお弁当をお届けできるよう 2020 年も頑張ります。



カレーと宿題。

去る 1 月 4 日 CSにしかまたにて、「カレーと宿題」という会の第二回目が開かれました。

この会は「子どもたちの宿題を見てあげて、皆と一緒にカレーを食べよう！」というものです。

今回は小学校や社協にも宣伝しましたが来て下さった子どもは二人だけでした。来て下さった子どもは少ないものの、社協の方や、地域の方など法人の枠を超えて多くの方々にご協力いただきました。来てくれる子どもが増え、皆で盛り上げられる会になればと思っています。そのために協力して下さる方、参加して下さる方を募集しています。次回は未定ですが、Facebook ページもありますので、そこで「カレーと宿題」と検索してお問い合わせください。（濱野）



怒涛のフリーマ〜

CSにしかまた

12月15日(日)、今年最後の「冬のフリーマーケット」が開催され、この日ばかりはいつもは人通りの少ない女塚商店街が活気にみなぎりたくさんの方たちで賑わいます。喫茶と軽食の店を運営している当店「CS(コミュニティスペース)にしかまた」も商店街の仲間に入れていただき、準備の段階から山岡氏(社会福祉法人フシケおおた)と協力し、出店の申し込み受付、出店ブースの区分け、ポスター貼り、その他諸々、地味で根気のいる裏方仕事を、当店のメンバーもチームの一員となって、黙々とこなしています。

東京に木枯らし1号が吹いた吹かないと予報士たちが困っていたけど、当日の朝の冷え込みは半端なく日中も気温は上がる気配を見せず、あまりの寒さに、当店自慢のポップコーンマシーンに張り付き暖を取る裏ワザを使ってみても、かじかんだままの指先が痛々しくて、若くないCSスタッフ達には堪えます。それでも、店頭、店内に綺麗に飾った古着や小物が飛ぶように売れているのを見ると、頼っぺたも心も温かく、少女のような笑い声が弾けます。10時から14時までのたった4時間の間にメンバーと一緒に走り回った距離はどのくらいだろうか。喉も腰も足も頭も、終わって見たら電池切れ、70過ぎてこんなに楽しく働けるなんて、終了後の反省会でもまだキラキラ輝いていた仲間たち、「私たちもONETEAMだね」って。この日ONETEAMの売上げた額27,000円也。毎度ありがとうございました♪嗚呼それにしてもまだ、記憶から疲労が消えない。(鬼頭博子)

「心の、あけぼの展」

2月6日(木)~11日(火・祝)までの6日間(10:00~19:00 但し、最終日は10:00~15:00)大田文化の森で「心の、あけぼの展」が開催されます。今年で12回目を迎えるあけぼの展では、精神に障害を抱える方々が作った絵画や写真、書等の作品を展示しております。入場無料で気軽にご覧いただけますので、ぜひご鑑賞ください。

精神保健福祉の理解を深める会
あけぼの会

投稿コーナー



KHさん

焼き鳥の 煙にむせぶ ガード下
日も暮れて 横断歩道を 猫わたる
夢の中 母が我が腰 揉みほぐす
三毛猫を 首に巻きつけ マフラーに

南蒲田の住人さん

川柳



新聞を 手に取る母の シルエット
小春日和の 光が包む
皺くちやに なってしまった 母の顔
ファニーフェイスの 笑顔を見せる
慌てると 手元がくるう 卵焼き
ちぎれてしまい 焦がしてしまい

夕日さん

短歌



伊藤 美桂さん

編集後記 ；

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

私は今回初めてグループホームでの年末年始の行事に参加いたしました。個人的に書道は大好きなので、書初めに参加できてよかったと思います。

皆さんの書を見て、「書は人なり」という言葉を思い出しました。書をみればそれを書いた人がどのような性格、人柄であるかが分かるという意味ですが、その人の意外な一面、内に隠された素質や思いをみられることも多くあると思っています。いつもは大雑把な人が几帳面でバランスの良い書を書いていたり、目立つことが苦手な人が堂々と凛々しい書を書いていたりなど、意識してみると予想外な書に出会えます。書を通じて色んな人の秘められた人柄、思いを感じとってみるのも書道の楽しみ方の一つです。筆で書いていなくても「書は人なり」は当てはまります。ぜひ身近な人の一筆をご覧ください。

ホームプシケ 長谷川

プシケおおた賛助会も「オキナワへいこう」の上映に協力します

東中野のポレポレ東中野などで上映されていた、堺市浅香山病院の患者さんたちのドキュメンタリー映画「オキナワへいこう」。精神科病院での長期入院について深く考えさせられる映画です。地域の上映実行委員会の動きに合わせて、プシケおおた賛助会も協力し映画を広めていくお手伝いをしようと、1月の役員会で決まりました。

【映画の紹介】

あらすじ

舞台は、大阪府堺市にある浅香山病院の精神科病棟。何十年と病院に暮らしている人が大勢いる。そのうちの一人、長期で入院している益田敏子さんが、生涯のうちに「一度で良いから沖縄に行ってみよう」と夢を語った。益田さんの夢を実現させようと、有志の看護師が立ち上がる。他にも参加を募ったところ、名乗りを上げたのは4人の男性患者たち、いずれも長期入院の人たちだった。… 5人のうち3人は結局、主治医から沖縄旅行を認めてもらえなかった。益田さんと男性山中さんは主治医から許可を得て2泊3日の沖縄旅行へと出発した。山中さんは、この旅行のため浅香山病院を退院し、沖縄から帰ったら、また再入院するという。ところがそんな彼に転機が訪れた。…

監督の言葉

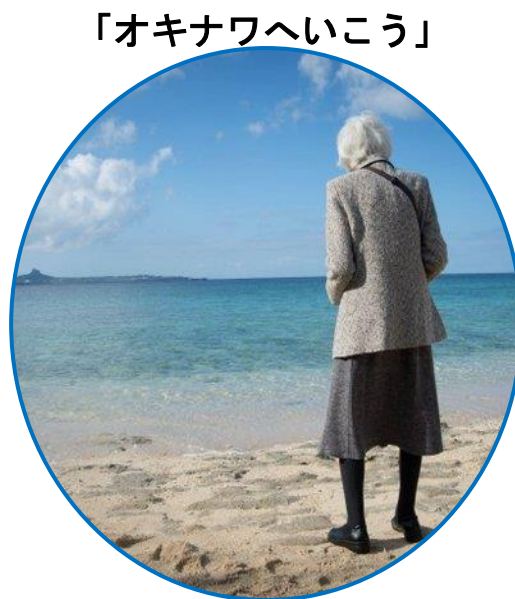
○ 僕は病気を撮りたいわけではない。人を撮りたいだけだ。この人たちがなぜこんなに長く入院しなくてはならないのか、それを記録し、記憶に残しておきたいのだ。

○ 彼らを撮っていると、「長期入院」という言葉に必ず出会う。入院歴60年の人がいた。20歳で入院し、現在80歳。外泊歴もなく、人生の大半を病院の中で過ごしている。なぜこういう現実が存在するのだろうか？

監督 大西暢夫（おおにしのぶお）

1986年生まれ。「オキナワへいこう」は3本目の作品。現在も月刊誌「精神科看護」の取材で全国の精神科病棟を撮り続けている。

映画「オキナワへいこう」パンフレットから抜粋



プシケおおた賛助会費を2019年11月21日から2020年1月27日までに納入して頂いた方

個人会員：10名

心より御礼申し上げます。今後ともよろしくお願いします。

賛助会代表 高橋明紀代

入会のご案内

プシケおおた賛助会は、社会福祉法人プシケおおたの運営の維持・発展のために支援協力することを目的として活動を行っています。当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間1口2000円からで、何口でも可能です。入会を希望される方は、下記口座に会費をお振込みください。

郵便振替

口座番号 00150-5-663423

加入者名 プシケおおた賛助会

